
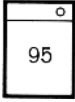



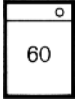




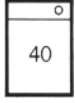




ISO 3758（繊維—記号による取り扱い表示コード）：2012 と JIS L0217（繊維製品の  
 取扱いに関する表示記号及びその表示方法）：1995（現行版）との表示記号に関する  
 対比表

表 1 洗濯処理のための表示記号

ISO3758:2012		JIS L0217:1995（現行版）		
表示記号	表示記号の意味	番号	表示記号	表示記号の意味
	—最高温度 95℃ —普通の操作			
		101		—液温は 95℃を限度とし、洗濯ができる
	—最高温度 70℃ —普通の操作			
	—最高温度 60℃ —普通の操作			
	—最高温度 60℃ —弱い操作	102		—液温は 60℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる
	—最高温度 50℃ —普通の操作			
	—最高温度 50℃ —弱い操作			
	—最高温度 40℃ —普通の操作			
	—最高温度 40℃ —弱い操作	103		—液温は 40℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる
	—最高温度 40℃ —非常に弱い操作	104		—液温は 40℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい









	—最高温度 30℃ —普通の操作			
	—最高温度 30℃ —弱い操作			
	—最高温度 30℃ —非常に弱い操作	105		—液温は 30℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい
	—手洗いのみ —最高温度 40℃	106		—液温は 30℃を限度とし、弱い手洗いがよい。 —洗濯機は使用できない
	—家庭洗濯禁止	107		—家庭で水洗いはできない

表 2 漂白処理のための表示記号

ISO3758:2012		JIS L0217:1995 (現行版)		
表示記号	表示記号の意味	番号	表示記号	表示記号の意味
	—あらゆる漂白剤が使用できる。			
		201		—塩素系漂白剤による漂白ができる
		202		—塩素系漂白剤による漂白はできない
	—酸素系／非塩素系の漂白剤のみ使用できる。 塩素系漂白剤は使用できない。			
	—漂白剤の使用禁止／漂白禁止			

表3 しぼり方のための表示記号



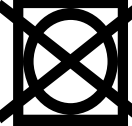




ISO3758:2012		JIS L0217:1995 (現行版)		
表示記号	表示記号の意味	番号	表示記号	表示記号の意味
	自然乾燥記号に併合	501		一手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で絞るのがよい
		502		一絞ってはいけない

表4 乾燥のための表示記号













ISO3758:2012		JIS L0217:1995 (現行版)			
表示記号	表示記号の意味	番号	表示記号	表示記号の意味	
タ ン ブ ル 乾 燥		一タンブル乾燥が可能 一普通の温度：排気温度は最高 80℃			
		一タンブル乾燥が可能 一低温での乾燥：排気温度は最高 60℃			
		一タンブル乾燥禁止			
自 然 乾 燥		ラインドライ (吊干し)	601		一吊干しがよい
		ドリップラインドライ (濡れ吊干し)			
		フラットドライ (平干し)	603		一平干しがよい
		ドリップフラットドライ (濡れ平干し)			
		日陰のラインドライ (日陰の吊干し)	602		一日陰の吊干しがよい

	日陰のドリップライン ドライ（日陰の濡れ吊 干し）			
	日陰のフラットドライ （日陰の平干し）	604		一日陰の平干しがよい
	日陰のドリップフラッ トドライ（日陰の濡れ 平干し）			

表5 アイロン処理のための表示記号

ISO3758:2012		JIS L0217:1995（現行版）		
表示記号	表示記号の意味	番号	表示記号	表示記号の意味
	—底面の最高温度 200℃まで	301		—210℃を限度とし、高い温 度（180～210℃まで）で掛け るのがよい。
	—底面の最高温度 150℃まで	302		—160℃を限度とし、中程度 の温度（140～160℃まで）で 掛けるのがよい。
	—底面の最高温度 110℃まで	303		—120℃を限度とし、低い温 度（80～120℃まで）で掛け るのがよい。
	—アイロン禁止	304		アイロン掛けはできない。

表 6 業者ドライ及びウェットクリーニングのための表示記号

ISO3758:2012		JIS L0217:1995 (現行版)		
表示記号	表示記号の意味	番号	表示記号	表示記号の意味
	—業者ドライクリーニング —テトラクロロエチレン及び 記号 F に記載の全ての溶剤 —普通操作	401		—ドライクリーニングができる。溶剤は、パークロロエチレンまたは石油系のものを使用する。
	—業者ドライクリーニング —テトラクロロエチレン及び 記号 F に記載の全ての溶剤 —弱い操作			
	—業者ドライクリーニング —石油系溶剤 (蒸留温度 150 ~210°C、引火点 38~70°C) —普通操作	402		—ドライクリーニングができる。溶剤は石油系のものを使用する。
	—業者ドライクリーニング —石油系溶剤 (蒸留温度 150 ~210°C、引火点 38~70°C) —弱い操作			
	—ドライクリーニング禁止	403		—ドライクリーニングはできない
	—業者ウェットクリーニング —普通操作			
	—業者ウェットクリーニング —弱い操作			
	—業者ウェットクリーニング —非常に弱い操作			
	—ウェットクリーニング禁止			